ジェトロ・クアラルンプール事務所
2023年2月14日作成

日用品市場はユニークさと機能性で勝負（マレーシア・クアラルンプール発）

わかりやすい機能性を訴求することが重要

マレーシアにおける日本ブランドの展開は主に食料品がメインであったが、昨今日用品の展開も広がってきている。モダンなライフスタイルを好み、新しい商品が好きであるマレーシア人に、どのような日用品が売れているかを日用品販売店5社（うち日系は4社）にインタビューを行った。売り場ではどのようにカテゴリ分けを行い、どれくらいの商品数を展開しているか、売れ筋商品やトレンド、さらに日本ブランドの勝ち筋について聞いた。

＜認知度と目新しさ＞

日系デパートA社はスーパーマーケット内で日用品を販売している。

質問：日用品のカテゴリと商品数は。
回答：日用品のカテゴリは、1)パーソナルケア、2)ホームケア、3)ビューティーケアの 3つで商品数は約1,000品。スーパーマーケット内の総販売点数のうち、食料品が95％を占めており、日用品は5％の展開。日用品分野は売り場が限られているため、ブランド認知度を重視し各商品種別において厳選した商品を販売している。

質問：売れ筋商品は。
回答：各カテゴリともマレーシア市場でよく知られているブランドが人気。商品種別によっては通常の製品に加えて価格と品質がさらに高いプレミアム商品の品揃えもある。ホームケアカテゴリはキッチン、バス・トイレタリー関連商品であるが、洗濯洗剤は日本の大手消費財メーカーの製品が人気。その他、インターナショナルブランドの商品が全般的に人気。またトイレットペーパーもよく売れており、アッパー層とミドル層で売れ筋が異なるが、どちらもローカルブランドのものが人気。ビューティーケアカテゴリはインターナショナルブランドで保湿力があるもの。パーソナルケアカテゴリは立地上観光客が多いため、なまこ石鹸（なまこ石鹸はマレーシアのお土産として定番の商品）。

質問：新しい取り組みや日本ブランドの展開・勝ち筋は。
回答：日系のドラッグストアと組んで新たな商品展開をテスト中。パーソナルケアでは、柿渋を使用したボディーソープは原料がマレーシアでは目新しく、保湿やフレッシュ感が

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

得られるとのことで人気。ハトムギは化粧水で人気があり広く知られているため、ハトムギのボディーソープも人気。カプセルタイプの洗濯洗剤も目新さで人気。認知度と目新しさが重要。

＜コロナ禍で新たなカテゴリが急伸＞

日系デパートB社はマレーシアの中間層をターゲットに様々な業態や場所でビジネスを展開しているため、ライススタイルのトレンドに合わせて商品を展開中。

質問：日用品のカテゴリと商品数は。
回答：日用品のカテゴリは、主に、1)ペーパー、2)洗剤・掃除、3)おむつ、4）パーソナルケア、5）トイレタリー、6)キッチン、7）パーティーグッズ、8）ペットフード。商品数は全体で約5,000品、商品が一番多いカテゴリは洗剤・掃除の約2,000品。

質問：売れ筋商品は。
回答：ペーパーカテゴリのティッシュ、トイレットペーパー、中でも3、4枚重ねの品質が良いもの。特にPB商品（ローカル製造）のものがコストパフォーマンスで高評価。洗剤・掃除はブランド認知度が重要でインターナショナルブランド。最近のトレンドは、カプセルタイプの洗濯洗剤が使いやすいとのことで好調。おむつは品質の良さから日本の大手消費財メーカーの製品が売れ筋。

質問：新しい取り組みや日本ブランドの展開・勝ち筋は。
回答：コロナ禍のロックダウン中は、衛生日用品であるハンドジェル、キッチンツール、ペットフード、男性用のグルーミングセット商品がよく売れた。現在は衛生日用品、キッチンツールは落ち着いたが、依然として男性用グルーミングセットとペットフード、特にコロナ後はキャットフードの需要が増している。新たなライフスタイル提案が重要。

＜日本製は機能性＞

日系専門店C社はマレーシアのアッパー層をターゲットとしている。様々な日用品を販売したが、売れ筋のみにフォーカスし、日用品売り場は縮小傾向。

質問：日用品のカテゴリと商品数は。
回答：日用品のカテゴリは、1)キッチン、2)洗濯洗剤、3)オーラルケア、4)ヘアケア,
5)雑貨、6)ティッシュなど、商品数は約1,000品。現在は200品、今後は50品程度に絞り込む予定。

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

質問：売れ筋商品は。
回答：各カテゴリとも機能性があるもの、マレーシアで販売されていないようなユニークな商品が人気。各カテゴリの売れ筋は、1)キッチンは卵焼き用のフライパンや家庭用のスモークレス焼肉グリルといった用途が明確で機能的なもの、また使いやすいと評判のPBの食品用ラップフィルム、2)洗濯洗剤は柔軟剤（マレーシアで流通しているものはインターナショナルブランドが多く、香りが強いものが多い）やカプセルタイプの洗濯洗剤などマレーシア市場にまだ流通していないもの、3)オーラルケアは小型の歯ブラシ（マレーシアで流通しているものはヘッドが大きいものばかり）、4)ヘアケアは馬油、ノンシリコンシャンプーなど成分重視、5)雑貨は機能面で人気な珪藻土のバスマット、6)ティッシュは、保湿ティッシュや香りがついているもの、4枚巻きのトイレットペーパー、ボトル型ウェットティッシュ、眼鏡クリーナーなど付加価値があり機能性に優れているもの。

質問：新しい取り組みや日本ブランドの展開・勝ち筋は。
回答：日本製品はユニークで機能的なものがよく売れる。一方で従業員教育をしっかりしないと説明できずに売れない。調理器具等の食文化に関連する製品でわかりやすく機能が訴求できるものは需要がある。

＜他店では買えないユニークなものが好調！＞
日系D社は家具及びインテリア用品を中心に取り扱う。

質問：日用品のカテゴリと商品数は。
回答：家具とホーム・ファッションに分け、ホーム・ファッションはハードとソフトで分けている。ハードとソフトは使用する場所（ダイニング・キッチン、トイレ・洗面、敷物、寝具、カーテン、清掃用品）で分けている。全体で7,000品あり、ハードはソフトの倍。

質問：売れ筋商品は。
回答：寝具、ダイニング・キッチン用品が売れ筋。寝具では特にクール素材を使用したシーツ 、ダイニング・キッチン用品では特に和食器（軽いもの）・鍋・フライパン。その他、珪藻土のバスマット、枕、アロマ関連の商品。全般的にマレーシアで売っていない商品が人気。

質問：新しい取り組みや日本ブランドの展開・勝ち筋は。
回答：商品はほぼ100％自社商品としており、色、デザインなども日本で販売している商品のまま展開中。出店から1年足らずであるため、データを収集し分析中であるが、こち

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

らのライフスタイルに合わせた商品サイズ（例、シーツのサイズが最大でクイーンサイズして対応していない。こちらの家庭用ベッドはキングサイズも多くある。）の展開を検討中。

＜バラエティとコストパフォーマンス＞
現地系E社は低価格ショップ（もともとは価格均一RM2ショップ）を展開中。現在は雑貨から食品まで幅広い商品をRM2、RM2.5、RM5、RM10、RM15、RM20と6段階の価格で販売中。

質問：日用品のカテゴリと商品数は。
回答：キッチン・家庭用品、パーティー・おもちゃ、文房具、美容関連。食料品を含めて全部で1万品ある。文房具が約3,000品、美容関連が約1,000品。

質問：売れ筋商品は。
回答：中国製のお皿やノート、文房具、紙バッグ。ローカルブランドの文房具。その他英語の本、パーティーグッズ（マレーシアは色々なイベントがあるため）。PBの洗剤、衛生日用品、ボディーソープやシャンプー。

質問：新しい取り組みや日本ブランドの展開・勝ち筋は。
回答：新商品の開拓は、主に中国の世界最大級の卸オンラインサイトを活用。顧客対象ごとにトレンドを調査し、SNSで分析。特に、Instagram（英語スピーカー）、TikTok（若い世代）、Facebook（中高年世代）は頻繁にチェック。商品ラインナップは、日系価格均一ショップ、北欧家具メーカー、ローカルの家具及びインテリア用品店をベンチマーク。豊富な商品量、イベントごとの商品展開、コストパフォーマンスで勝負。
日本ブランドは興味があるが、RM20以下で販売できないと厳しい。日本製品は化粧品の品質が良いイメージがあるので美容関連、デザインが可愛い文房具関連、食品（ハラル認証必須）は興味あり。

以上

〇作成：ジェトロ・クアラルンプール事務所
〇執筆：中小企業海外展開現地支援プラットフォームコーディネーター　五木田　貴浩

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

【レポートの利用についての注意・免責事項】

本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）クアラルンプール事務所が五木田貴浩氏に依頼作成し、2023年2月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロは一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロが係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

【レポートの内容に関するお問い合わせ先】

ジェトロ・ビジネス展開支援課　BDA@jetro.go.jp
（2023 年 4 月 1 日以降はジェトロ・海外展開支援部戦略企画課個別支援班　ODA@jetro.go.jp）

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆
本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？
今後の参考のため、役立ち度アンケートにご協力頂けましたら幸いです。
（所要時間：約1分）

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.